令和７年度　事業報告書

就労移行・就労継続支援Ｂ型事業所　京都市朱雀工房

◆令和７年度　京都市朱雀工房　事業報告

１．概要

【就労移行支援事業】

【就労継続支援Ｂ型事業】

【就労定着支援事業】

２．事業計画に対する達成状況の確認

【就労移行支援事業】

【就労継続支援Ｂ型事業】

【就労定着支援事業】

３．中長期計画に向けた取り組み

・事業運営

・職員の育成と定着

・地域交流、地域貢献

◆【添付資料】

・資料①「令和７（2025）年度　利用者の通所状況・平均工賃」
・資料②「令和７（2025）年度　利用者の動向」
・資料③「令和７（2025）年度　就労支援プログラム」
・資料④「令和７（2025）年度　SFA 実施内容」
・資料⑤「令和７（2025）年度　避難訓練等」
・資料⑥「令和７（2025）年度　学生実習生受入状況」
・資料⑦「令和７（2025）年度　行事等」
・資料⑧「令和７（2025）年度　外部研修参加状況」
・資料⑨「令和７（2025）年度　利用者満足度調査」
・資料⑩「令和７（2025）年度　人員配置」

◆その他

・事故報告書

※無し

・令和７年度　決算報告書（財務諸表）及び

「指定管理業務のみに係る決算状況（収支状況）が分かる書類」

※別紙添付資料「決算報告書」

令和７年度 京都市朱雀工房 事業報告(案)

1.【令和7年度 京都市朱雀工房 概要】

❑就労移行について

利用定員数	就職者数	新規利用者数	見学者数
6名	3名	4名	6名

R7年度 平均利用者数	2.7名	R7年度 年間給付費	8,094,755円
R6年度 平均利用者数	3.8名	R6年度 年間給付費	10,177,761円
R7年度 登録者数	8名	R7年度 工賃平均額	13,803円
R6年度 登録者数	10名	R6年度 工賃平均額	15,091円

◆運営内容
- ・SFAプログラムの実施(※内容は別紙参照)
- ・就労支援プログラム(※内容は別紙参照)
- ・若者サポートステーション内の就労プログラムの受入れ
- ・職場見学、職場実習の実施

❑就労継続支援事業B型について

利用定員数	就職者数	新規利用者数	見学者数
14名	2名	3名	5名

R7年度 平均利用者数	15.4名	R7年度 年間給付費	35,383,708円
R6年度 平均利用者数	12.9名	R6年度 年間給付費	27,092,858円
R7年度 登録者数	32名	R7年度 工賃平均額	16.238円
R6年度 登録者数	31名	R6年度 工賃平均額	16,533円

◆運営内容
- ・SFAプログラムの実施(※内容は別紙参照)
- ・線香箱の組立、ローソクの梱包、パンフレット封入等の軽作業
- ・お寺清掃や駐車場清掃等、施設外就労
- ・季節毎のレクリエーションの実施

❑就労定着支援事業について

平均登録者数	新規利用者数	支援終結者数	
4.2名	2名	4名	

R7年度 平均登録者数	4.2名	R7年度 年間給付費	1,403,367円
R6年度 平均登録者数	5.3名	R6年度 年間給付費	1,251,052円

◆運営内容
- ・定期的な職場訪問の実施
- ・職場での対人関係の不和や不安定な出勤状況などについての把握と改善方法の提示
- ・本人の職場環境改善の為に企業・通院先と連携しての情報収集
- ・就労及び、生活双方への支援

❑就労選択支援事業について

⊙『申請の検討を行う。』としていたが、制度の内容の確認や情報収集の結果、現在の事業所の状況等から、指定申請を見送った。

---

2. 事業計画に対する達成状況の確認

❑就労移行支援事業

Ⅰ.【就労支援】	
①. 職場見学、職場実習の充実	達成
⊙職場見学 ・グリーン＆サレ(フライフィッシングクラブ) ・田中文照堂(手掘り印鑑) ・今西軒(和菓子店) ⊙職場実習 ・NPO 法人　陽(みなみ) ： 事務・軽作業 ・京都ノートルダム女子大学 ： 事務補助 ・コープきぬがさ ： 野菜の袋詰め、商品の陳列、品出し ・株式会社　山田精油 ： 製造機材の洗浄 →実習から１名就職 ・京都大学生活協同組合 ： レストランの食器洗浄、配膳、下膳等	
②. 就業マナー等、就労準備プログラム	一部達成
・通常のプログラムは行ったが、計画していた新規の『利用者が取り組みやすいプログラム』は実施できなかった	
③. OB による就職体験談や、ハローワークでのジョブガイダンスへの参加	未達成
・実施に至らなかった	
④. 外部機関が実施する就労サポートの活用	未達成
・活用に至らなかった	
⑤. 個別パソコン講習の実施	一部達成
・講習ではないが、興味のある利用者さんが個別でパソコンの練習を行った。	
Ⅱ.【健康・日常生活管理】	
①. 施設外就労、ストレッチ、野外レクリエーションによる体力強化	達成
・就職した利用者の体力強化に繋がったと思われる。	
②. 健康管理やストレス対処のプログラムによる健康意識の向上	達成
・	
③. 定期面談による心身の状況把握	一部達成
・適宜の面談や個別支援計画の更新時に面談は行っているが、それ以外は本人からの申し入れでの面談となり、定期的とまでは言えなかった。	
④. 受診医療機関との連携	達成
・必要がある際には医療機関に連絡し、支援に活かすことが出来た。	
Ⅲ.【利用率向上に向けた取り組み】	
①. 新パンフレットを使用した関係機関への広報活動	達成
・ボーナスキャンペーンの時期と連動させ関係機関に広報をした。	
②. 若者サポートステーションの就職プログラムとの連携	達成
・定期的な受入れを行った。	
③. 総合支援学校の体験実習やアセスメント実習の受け入れ	達成
・市内の支援学校からの見学や実習を受け入れた。	
④. 就労移行支援 B 型からのステップアップ	達成
・2 名の利用者が就労移行に移り就職活動を開始した。	

❑就労継続支援 B 型事業

Ⅰ.【生産活動】	
①. 軽作業	達成
・箱の組立・封入作業・梱包作業、各種検品作業等	
②. 施設外就労	達成
・清掃(高台寺・実相寺・木材会館・パーキング)	
Ⅱ.【日常生活管理】	
①. 施設外就労、ストレッチ、野外レクリエーションによる体力強化	一部達成
・ストレッチを毎日実施したが、レクリエーションでは野外に行く機会が少なく、施設外就労では参加者が固定していた。	
②. 健康管理やストレス対処のプログラムによる健康意識の向上	達成
・SFA プログラム等で啓発を行った。	
③. 定期面談による心身の状況把握	一部達成
・適宜の面談や個別支援計画の更新時に面談は行っているが、それ以外は本人からの申し入れでの面談となり、定期的とまでは言えなかった。	
④. 受診医療機関との連携	達成
・必要がある際には医療機関に連絡し、支援に活かすことが出来た。	
Ⅲ.【授産製品と出店】	
①. 喫茶とお茶葉、乾燥糸こんにゃくを販売	達成
・例年通りの販売を行えた。	
②. 地域の福祉祭り、行政や医療機関のイベントにて販売	達成
・利用者とともに参加し、販売活動を行った。	
③. ボーナスキャンペーンでは関係企業とのコラボ商品を販売	一部達成
・コラボ商品は出来なかったが、取扱商品の販売は出来た	
Ⅳ.【就労支援】	
①. 職場見学や職場実習の実施	達成
・例年通りの販売を行えた。	
②. 就労関係のプログラムの実施	達成
・予定通り実施した。	
③. 就労移行支援のプログラムへの参加	達成
・4 名の利用者が就労関係のプログラムに参加した。	
④. 外部機関が実施する就労サポートの活用	未達成
・活用に至らなかった	

❑就労移行支援・就労継続支援 B 型事業 【共通項目】

Ⅰ.【ミーティング】	
①. 月 1 回、司会と記録を利用者さんが担い、行事や事業所内のことについての話し合いを実施	達成
・箱の組立・封入作業・梱包作業、各種検品作業等	
②. レクリエーション	達成
・季節ごとのイベントや外出・ゲームを通じて、利用者さん同士のふれあいを増進する	
③. 地域や関係機関との連携	一部達成
・高台寺(清掃活動と共にイベントへの参加等)→○ ・ウィングスマルコー(利用者さんの派遣アルバイトの実施)→× ・京都木材協同組合(大掃除での食事会など)→○ ・京都ノートルダム女子大学(学内体験実習への継続参加)→○	

・西新道商店街(会食会場の清掃ボランティア、夏祭りへの参加)→△ ・京都市立病院(統合失調症家族会での喫茶販売)→○ ・中京区こころのふれあいネットワーク(精神障害の啓発・普及活動)→○ ・自立支援協議会(就労部会の運営参加)→○
④. 感染症対策と防災の取組
・感染症備品、防災備品の在庫管理を年２回行う。 ・法人の緊急連絡網訓練を通じて緊急時の連絡の仕方や役割分担について整理を行う。 ・BCP(事業継続計画)の点検
⑤. 法令遵守　※定着支援事業共通
・ハラスメント、身体拘束の禁止、虐待防止、合理的配慮義務の提供について法人全体研修や外部研修を受講し、職員ミーティングにおいて共有するとともに支援をふりかえり、点検する。

❑就労定着支援事業

①. 職場訪問	達成
・月１回職場へ訪問し状況に応じたサポートを行う	
②. 来所面談	一部達成
・定期的に来所してもらい就労状況について振り返る	
③. 電話連絡	達成
・利用者さんからの相談や企業や関係機関との連絡調整を行う	
④. 医療機関への同行	未達成
・調子が不安定な時や休職中のサポートを行う	

---

3. 中長期計画に向けた取り組み

①. 事業運営

計　画:**利用メンバーのニーズを把握し、就労、相談、生活支援、工賃向上、レクリエーション等の取り組みを充実し、利用したいと思ってもらえる魅力ある事業所作りを行う。**
利用者のニーズに合わせ活動しやすいように作業室などの環境整備をしていく。
定着支援を充実させるため、企業への訪問や情報共有を通じて、連携を強める。

取り組み:まだあまり取り組めていない。
利用者のニーズを十分に引き出せていないと感じているため、今後も継続して取り組んでいく。

②. 職員の育成と定着

計　画:**利用者の個別性、障害特性に応じて支援ができるように研修を受講する。**
職員間で関わりについてカンファレンスを実施する。
悩みを一人で抱込まないように共有することで負担感を少なくする。

取り組み:個人の研鑽としての研修受講はある程度出来たが、事業所としての目標を持った研修の受講は十分でなかったと感じるので、今後はある程度事業所としての方向性を持って研修を選択していく。
情報の共有と個人の負担感については、変わらず課題であるので、引き続き軽減に取り組んでいく。

③. 地域交流・地域貢献

計　画:**バス停前のゴミ拾いなど地域美化に協力する。**
地域の防災訓練に参加する。
地域のイベントに参加する。

取り組み:どれも十分には取り組めていないので、今後どのような形であれば地域に何かしらの貢献できるか等、改めて考えていきたい。

令和7年度年間通所状況　　京都市朱雀工房

朱雀工房資料①

	就労移行支援	就労継続支援B型
開所日数	242	242
延べ通所利用者数	649	3704
一日平均利用人員	2.68	15.40

令和7年度　月別利用者数(延べ人数)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
就労継続支援B型	338	317	331	325	286	306	334	280	312	295	258	322	3704
就労移行支援	45	50	61	66	50	68	63	51	62	57	38	38	649
総計	383	367	392	391	336	374	397	331	374	352	296	360	4353

令和7年度通所率

(単位:%)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
就労継続支援B型	16.10	15.85	15.76	14.77	14.30	15.30	15.18	15.56	15.6	15.53	14.33	15.33	15.30
就労移行支援	2.14	2.50	2.90	3.00	2.50	3.40	2.86	2.83	3.10	3.00	2.11	1.81	2.68
平均通所率	9.12	9.175	9.33	8.885	8.4	9.35	9.02	9.195	9.35	9.265	8.22	8.57	8.99

令和7年度　工賃

(単位:円)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
就労継続B型(総額)	177,553	222,334	235,653	259,624	328,840	284,363	285,322	219,444	295,019	214,820	310,691	245,094	256,563
平均工賃	6,122.52	7,940.50	8,416.18	9,615.70	12,179.26	10,531.96	10,567.48	8,777.76	12,292.46	8,950.83	12,427.64	9,803.76	16,660
就労移行支援(総額)	28,398	37,112	50,074	50,813	59,857	84,603	63,418	47,519	52,901	47,955	58,509	36,654	51,484
平均工賃	7,099.50	7,422.40	8,345.67	10,162.60	14,964.25	12,086.14	9,059.71	11,879.75	13,225.25	11,988.75	19,503.00	18,327.00	19,068

※2月、8月に別途ボーナスとして3,000円、5,000円、10,000円を本人評価、職員評価により総合的に評価して支給。

朱雀工房資料②

居住区別

【京都市】	
上京区	
中京区	10
下京区	5
左京区	
右京区	13
西京区	3
東山区	0
北区	1
南区	2
伏見区	1
山科区	
【向日市】	1
【長岡京市】	
合計	36

入所経路

ジョブパーク	1
デイケア	5
京都市社会福祉協議会	3
京都市地域リハビリテーション推進センター	1
京都障害者就業・生活支援センター	1
京都障害者職業相談室	2
高次脳機能障害者支援センター	1
自宅	6
他事業所	2
地域生活支援センター	7
特別支援学校	2
病院	4
福祉事務所	1
合計	36

性別・年齢別内訳

年齢	m	f	計
19～29歳	6	3	9
30～34歳	1	0	1
35～39歳	3	2	5
40～44歳	4	2	6
45～49歳	3	1	4
50～54歳	1	1	2
55～59歳	2	3	5
60歳～	3	1	4
計	23	13	36
男女比	64.0%	36.0%	100%
平均年齢(歳)	43歳	42.2歳	

医療機関別

いわくら病院	2
ウエノ診療所	1
シミズ病院	1
たけうのちクリニック	1
ふてんま医院	1
桂メンタルクリニック	1
まるいクリニック	1
安東医院	1
宇治おうばく病院	1
京都駅前メンタルクリニック	2
京都市立病院	4
京都大学医学部附属病院	2
京都第二赤十字病院こころの医療科	1
京都府立医科大学付属病院	2
京都府立洛南病院	1
国澤こころのクリニック	1
嵯峨嵐山・田中クリニック	1
出町柳たなかクリニック	1
菅原クリニック	1
瀬尾クリニック	4
西山病院	1
竹村診療所	1
中嶋クリニック	1
長岡病院	2
なし	1
合計	36

病名

ASD	1	自閉症スペクトラム 一過性精神病性障害 統合失調症	1	レーベル遺伝性視神経症 自閉症スペクトラム 強迫性障害	1
アルコール依存症 自閉症スペクトラム ADHD	1	自閉症スペクトラム 中度知的障害	1	解離性同一症/複雑性PTSD ADHD 感覚過敏 僧帽弁閉鎖不全症 甲状腺腫瘍	1
		社会不安障害	1		
うつ病	2	社交不安障害 場面緘黙	1		
てんかん	2	症候性てんかん 高次脳機能障害 失語症	1	非定型精神病 うつ病 軽度知的障害	1
言語障害高次脳機能障害	1	心的外傷後ストレス障害 肥満 代謝異常	1	躁鬱 てんかん橋本脳症	1
自閉症スペクトラム	2	双極性障害ADHD	1	統合失調症 うつ病	1
自閉症スペクトラム 発達遅滞	1	知的障害	1	合計	36
自閉症スペクトラム ADHD 学習障害	1	統合失調症	11		
		統合失調症アスペルガー症候群	1		

◆2025年度就労支援プログラム　※高橋恒明担当分　　朱雀工房資料 ③

4月15日	企業面接に備える② 参加者―メンバー3名、
4月22日	身につけたい職場のコミュニケーション① 参加者-メンバー3名、学生実習生1名
5月20日	敬語の基本を確かめよう 参加者-メンバー3名、学生実習生4名
5月27日	電話をうけてメモをとる 参加者--4名、学生実習生1名
6月25日	電子メールのマナーを学ぼう 参加者―2名
7月8日	オンラインコミュニケーションについて 参加者―メンバー3名
7月15日	働くということ―働く力になるものは？① 参加者―メンバー3名、学生実習生3名
7月22日	働くということ―働く力になるものは？② 参加者―メンバー4名、学生実習生2名
8月20日	障害者雇用促進法を活かす① 参加者--2名、学生実習生2名
9月9日	障害者雇用促進法を活かす② 参加者-メンバー2名、
9月16日	障害者雇用促進法を活かす③ 参加者ーメンバー3名、学生実習生―2名
9月30日	働く人のための法律入門①ー社会保険の基本を学ぶ① 健康保険・年金保険 参加者-メンバー-5名、学生実習生1名
10月21日	働く人のための法律入門②ー社会保険の基本を学ぶ② 雇用保険・労災保険 参加者 メンバー3名、学生実習生1名
10月28日	働く人のための法律入門③…労働基準法の基本を確認しよう 参加者ーメンバー3名、学生実習生1名
11月18日	働くということ―地域で働く、地域を創る① 参加者-メンバー3名、学生実習生3名
11月25日	働くということ―地域で働く、地域を創る② 参加者ーメンバー3名
12月9日	合理的配慮について①ー建設的対話 参加者―メンバー4名、学生実習生3名
12月16日	合理的配慮について②―「個人的自立」から「社会的自立へ」 参加者ーメンバー-4名
1月20日	強みに気付き、強みを活かす① 参加者ーメンバー4名、学生実習生3名
1月27日	強みに気付き、強みを活かす② 参加者ーメンバー4名
2月10日	「思い」をことばにするということ① 参加者ーメンバー2名、学生実習生3名
2月24日	「思い」をことばにするということ② 参加者ーメンバー4名、学生実習生1名

◆外部セミナー(職員同行)

9月26日	障害者合同企業説明会 主催：京都労働局・ハローワーク 会場：京都国際会館	就労移行メンバー2名
2月19日	障害者合同企業説明会 主催：京都労働局・ハローワーク 会場：京都国際会館	

◆2025年度　SFA（社会生活力向上プログラム）実施状況

朱雀工房資料 ④-1

日程	内容	参加人数	主担当
4/3(木)Pm	ストレスⅠ　ストレスとは	7名	[redacted]
4/10（木）Am	ストレスⅠ　ストレスとは	3名	
4/17(木)Pm	ストレスⅡ　ストレスに気づく	5名	
4/24（木）Am	ストレスⅡ　ストレスに気づく	4名	
5/1（木）Am	ストレスⅢ　ストレスに対処する	2名	
5/1（木）Pm	ストレスⅢ　ストレスに対処する	4名	
5/15（木）Pm	ストレスⅢ　ストレスに対処する	1名	
5/22（木）Am	対人関係Ⅰ　対人関係って何？	2名・実習生1名	
5/22（木）Pm	対人関係Ⅰ　対人関係って何？	4名・実習生2名	
5/26（木）Am	ストレスⅠ・Ⅱ	2名	
5/29（木）AM	対人関係Ⅰ　対人関係って何？	1名	
6/5（木）Pm	対人関係Ⅱ　人との安心できる距離	4名	
6/19（木）Pm	対人関係Ⅲ　感情を目で見てみましょう	4名	
7/3（木）Am	夏の健康管理Ⅰ　夏の危険（食べ物編）	1名	
7/3（木）Pm	夏の健康管理Ⅰ　夏の危険（食べ物編）	3名	
7/17（木）Pm	夏の健康管理Ⅱ　熱中症・冷房症	4名	
8/7（木）Pm	夏の健康管理Ⅲ　夏の危険探し	3名	
8/21（木）Am	食生活Ⅰ　食生活の大切さを知る	1名	
8/21（木）Pm	食生活Ⅰ　食生活の大切さを知る	3名・実習生2名	
9/2（水）Pm	ストレスⅢストレスに対処する	1名	
10/16（木）Am	食生活Ⅱ　何でも食べて元気に過ごそう	2名	
10/16（木）Pm	食生活Ⅱ　何でも食べて元気に過ごそう	5名・実習生3名	
10/23（木）Pm	食生活Ⅱ　何でも食べて元気に過ごそう	1名	
11/6（木）Am	食生活Ⅲ　健康でいられるために	2名	
11/6（木）Pm	食生活Ⅲ　健康でいられるために	2名・実習生2名	

11/13（木）Am	食生活Ⅲ　健康でいられるために	１名	上村
11/20（木）Am	外出と余暇Ⅰ　外出しましたか？	１名	[redacted]
11/20（木）Pm	外出と余暇Ⅰ　外出しましたか？	４名・実習生２名	
12/４（木）Am	外出と余暇Ⅱ　楽しみマップを作ろう外出と余暇Ⅱ　楽しみマップを作ろう	２名	
12/４（木）Pm	外出と余暇Ⅱ　楽しみマップを作ろう	３名	
１/15（木）Am	外出と余暇Ⅲ　楽しみの中にも落とし穴	２名	
１/15（木）Pm	外出と余暇Ⅲ　楽しみの中にも落とし穴	５名	
１/22（木）Am	掃除・整理整頓Ⅰ今の状態を知り、掃除の大切さを知ろう	３名・実習生２名	
１/22（木）Pm	掃除・整理整頓Ⅱ掃除・整理整頓の基本を学ぶ	３名	
２/6（木）Pm	掃除・整理整頓Ⅰ今の状態を知り、掃除の大切さを知ろう	１名	
２/19（木）Am	掃除・整理整頓Ⅱ掃除・整理整頓の基本を学ぶ	２名・実習生１名	
２/19（木）Pm	掃除・整理整頓Ⅱ掃除・整理整頓の基本を学ぶ	３名	
３/５（木）Am	掃除・整理整頓Ⅲ　心地よい部屋で過ごすために大事なこと	３名	
３/５（木）Pm	掃除・整理整頓Ⅲ　心地よい部屋で過ごすために大事なこと	４名・実習生１名	
３/19（木）Am	セルフケアⅠセルフケアって何？	２名	
３/19（木）Pm	セルフケアⅠセルフケアって何？	５名	

◆令和７年度　京都市朱雀工房　非常災害時及び防災訓練実施報告書

❑京都市　障害者支援施設等災害時情報共有システムによる報告訓練

実施日時：令和７年10月17日

訓練の内容：京都市からの被害報告の確認メールからインターネットにアクセスし施設の被害情報の報告を行った。

❑地域リハビリレーション推進センター企画による消防訓練

実施日時：令和８年２月５日

訓練の内容：平日16時に４階デイ・ケア課のコンセントから出火を想定。

・デイ・ケア課の職員が消化活動を行う。

・障害者支援施設５階・４階（終礼直後）の利用者を避難させる。

・その他のCOCOテラス内施設についても各自避難する。

・実際の階段を使用しての避難は職員のみで実施し、１階外の芝生に集合し、避難経路や手順を確認した。

❑京都市シェイクアウト訓練（一斉防災訓練）

実施日時：令和８年３月11日

訓練内容：全市一斉の緊急速報メールに合わせて実施。

・利用者には訓練の予告し、緊急速報後、職員・利用者全員机の下に隠れる。終了後、資料を元に説明を行う。

・実際、災害にあった時の説明を避難方法・避難系をなど職員、利用者とで一緒に行った。

・消化器や放水線の場所等の再確認を行った。

❑苦情対応

・苦情は寄せられなかった。

❑事故

・事故はなかった。

◆令和７年度　実習・見学受け入れ一覧表

京都市朱雀工房資料⑥

2025年度　精神保健福祉士実習	人数
龍谷大学	3
佛教大学	1
日本福祉大学	1
大阪人間科学大学	1
京都医専専門学校	1
京都医療福祉専門学校	2
合計	9

看護実習	単位：人
京都府立医科大学	61
第一赤十字	37
第二赤十字	11
京都中央保健大学校	4
合計	113

見学	単位：人
京都ノートルダム女子大学	4

実習受け入れ	単位：人
京都市こころの健康増進センターデイケア実習	8

サポートステーション　実習体験	単位：回数
	16

◆京都市朱雀工房　行事等

朱雀工房資料 ⑦

❑レクリエーション

日　時	内　容	参加人数
2025/4/9（水）	お花見　嵐山パークウェイ	15名
2025/6/18（水）	花園教会　水族館	12名
2025/9/4（木）	たこ焼きパーティ	19名
2025/10/29（水）	バーベキュウ　京都中央市場三三九	12名
2025/12/24（水）	クリスマス会	17名
2026/1/5（月）	新年茶話会	8名
2026/2/12（木）	節分レクリエーション	15名
2026/3/23（月）	送別会	22名

❑企業見学

日　時	内　容	参加人数
2025/7/14（月）	グリーン&サン	4名
2025/9/11（木）	田中文照堂	4名
2025/12/12（金）	今西軒	4名
2026/2/18（水）	天神豆腐	4名

❑出店

日　時	内　容
2025/5/2	ぶらり嵐山
2025/6/9	中京区役所
2025/9/5～9/6	みんなネット
2025/11/21	嵐山マルシェ
2025/12/2	京都市立病院
2026/1/9	下京区役所

❑地域交流

2025/10/5	ミレニアムライオンズクラブ 桂川清掃	法人全体 利用者25名、家族1名 職員　6名、実習生1名

❑出張講義

2025/6/　（木）	龍谷大学	利用者2名、職員1名

❑OB会（ピアサポートの会）

2025/4/20（日）	参加者：8名
2025/7/20（日）	参加者：6名
2025/10/19（日）	参加者：7名
2026/1/18（日）	参加者：8名

◆京都市朱雀工房　外部研修参加一覧表

京都市朱雀工房資料⑧

日　程	研修名	研修先	参加者
2025年 7月7日～7月18日	訪問型職場適応援助者研修	エル・おおさか4階	[redacted]
2025年8月25日	思いよ、届け、会話力、要約セミナー	ハートピア京都 3階大会議室	
2025年9月22日	メンタルヘルス講習会	Zoom	
2025年 9月29日～30日	サービス管理責任者実践研修	京都テルサ	
2025年 9月24日、10月1日	精神保健福祉士実習講習会	Zoom	
2025年10月23日	個別事例検討会	就労支援センター そらいろ	
2025年11月20日	認知行動療法ワークショップ研修	Zoom	
2025年11月21日	京都社会就労センター協議会	調査研究・研修委員会 職員研修	
2025年12月9日	リハビリテーションセンター推進研修	COCOテラス	
2026年1月15日	令和7年度　京都障害者職業センター 第1回　基礎的研修フォローアップ研修	ハローワーク京都七条 3階会議室	
2026年1月22日	個別事例検討会	就労支援センター そらいろ	
2026年2月20日	有限会社アイトス ふくしビジネス勉強会	京都テルサ	
2026年 2月27日～28日	第4回全国精神障害者福祉事業者協会 全国研修フォーラムinくまもと	熊本ルーテル学院大学	
2026年3月19日	個別事例検討会	就労支援センター そらいろ	

京都市朱雀工房　サービス満足度調査　　令和7年度　結果

調査時期：　令和8年3月15日～3月31日

調査対象：就労移行、就労継続支援事業利用者に事業所通所時間に調査票を配布し、無記名で記載してもらい、回収。回収就労移行利用者2名、B型25名。

1．職員の対応について

(1)職員は気持ちの良いあいさつをしていますか？	良い	良くない	どちらでもない
	25	1	1
(2)職員の服装、身だしなみは適切ですか？	良い	良くない	どちらでもない
	26	0	1
(3)話を聞いてほしい時に職員はすぐに話を聞いてくれますか？	良い	良くない	どちらでもない
	26	0	1
(4)職員はていねいな言葉づかいで話していますか？	良い	いいえ	どちらでもない
	23	1	3
(5)職員の態度がえらそうであったり、怖いと感じたことがありますか？	ある	ない	どちらでもない
	3	23	1
(6)嫌な作業や活動を強要されたことがありますか？	ある	ない	どちらでもない
	3	22	2

(5)(6)で{ある}と答えられた方にお聞きします。具体的にどういった場面でしたか。

・日によって職員の態度がえらそうであったり、怖いと感じるので、他の職員や誰かに聞いてもらって、落ち着くようにしている。
皆さんいつも良い職員だし、感謝している。
・日によって職員の態度がえらそうであったり、怖いと感じるので、他の職員や誰かに聞いてもらって、落ち着くようにしている。
・とある職員の方が他の利用者の方や職員の方に対して不機嫌であったり、雑な態度、発言をなさっている場面がしばしば見受けられた。
「そんなに丁寧にしなくていい」「(質問に対して)いや、自分は知らんし」「はぁ？」等の発言。
・テープの切る音、段ボールを扱う音などに配慮がなされていなかったと思う。

次ページに続く

・夏の暑い時やちょっとしんどい時に外掃除に行くのがつらい時がある。断れない性格もある。(将来のため)
・気持ちが沈んでいる時に線香の箱ばかりで嫌だった。
・ずっと丁合いすることはやめてもらいたいです。
・(5)(6)良すぎるくらいです。あと言うならもう少し働く人たちの意識、目標につながる何かを。
・こわいと感じたことは度々ある。声のトーンとか大きさとかが苦手で、こわいなぁとか言葉の端々がきついなぁと思ったりとか上から圧をかけられた気がすることがある。

2. サービスについて

(1)支援計画にそった支援がなされていますか。	なされている	なされていない	どちらでもない
	24	2	1
(2)個人情報を慎重に取り扱っていますか。	なされている	なされていない	どちらでもない
	25	1	1
(3)事業所の環境に満足していますか。	満足	不満足	どちらでもない
	22	1	4
(4)作業内容に満足していますか。B型利用者対象	満足	不満足	どちらでもない
	18	1	6
(5)就労支援(職場実習、ハーローワークへの同行)に満足してますか。移行支援	満足	不満足	どちらでもない
	2	0	0
(6)作業工賃に満足してますか。B型利用者対象	満足	不満足	どちらでもない
	11	6	8
(7)所内作業・所外作業・プログラム等に満足していますか。移行利用者対象	満足	不満足	どちらでもない
	2	0	0
(8)レクレーションには満足してますか。	満足	不満足	どちらでもない
	17	1	8
(9)利用日数や作業時間に満足していますか。	満足	不満足	どちらでもない
	18	4	5

3. その他　自由にご意見をお書きください。

・4月から作業時間が変わるので、工賃が少なくなるので心配です、日を増やそうか考えた。
・レクはテーマパークにまた行ってみたいです。ありがとうございました。
・訓練日やから最低賃金欲しい。
・今までどおりの対応でお願いします。
・もう少し工賃が欲しい。
・大分人とのコミュニケーションに慣れてきたと思う。
・毎日楽しく朱雀工房に通えています。
・心地よい職場環境で大満足しています。
・朱雀工房（光彩の会）ほど手厚い支援サービスがなされている事業所は京都府内、他の都道府県にもあまりないのではと思います。職員の人間性もすばらしいです。長いトンネルの暗やみから私の人生に光りをさして救ってくださった存在（方々）だと本当に心の底から感謝しております。これからもよろしくお願いいたします。
・そろそろ飽きてきたというか何のために力を尽くしているかわからなくなってきた。
・職員がうまいことしゃべってくれるのでうれしい。
・こちらの事情も汲み取ってくださり、それに乗っ取って最大限の配慮をしていただき、とても助かっています。本当にありがたいです。

4. 結果からの考察

職員対応については怖いと感じたり、言葉遣いや声の大きさがしんどさにつながることがある、配慮不足があるという意見があったので、職員間で共有し、客観的に言動を振り返り、指摘のあった点を改善していきたい。。
作業工賃については、不満足やもっと工賃が欲しいという意見もあり、作業内容とともに工夫が必要である。
レクレーションに関してはメンバーミーティングで話し合い、意見をもとに実施しているが、不満足やどちらでもないという回答もあり、意見をさらに汲み取り、満足の得られるものにしていきたい。
就労や生活に関するプログラム定期的に行っており、満足度は高い。
環境については満足という回答が多いが、不満足、どちらでもないという回答もあり、スペース的な制約もあるが、意見を聞き、改善していく。
利用者が満足できる施設である様にアンケート結果を真摯に受け止め、改善を目指して行きたい。

◆人員配置

令和７年４月１日～令和８年２月28日

❑就労移行支援事業

常勤換算	職　種	勤務形態	氏　名
3.1	管理者	非常勤兼務	[redacted]
	サービス管理責任者	非常勤兼務	
	生活支援員	常勤専従	
	職業指導員	常勤専従	
	就労支援員	非常勤専従	

❑就労継続支援Ｂ型

常勤換算	職　種	勤務形態	氏　名
4.9	管理者	非常勤兼務	[redacted]
	サービス管理責任者	非常勤兼務	
	生活支援員	常勤専従	
	生活支援員	常勤専従	
	職業指導員	非常勤兼務	
	職業指導員	非常勤専従	
	工賃向上達成職員	常勤専従	

◉令和８年３月１日～３月３１日

常勤換算	職　種	勤務形態	氏名
3.9	管理者	非常勤兼務	[redacted]
	サービス管理責任者	非常勤兼務	
	生活支援員	常勤専従	
	職業指導員	非常勤兼務	
	職業指導員	非常勤専従	
	工賃向上達成職員	常勤専従	

❑就労定着支援

常勤換算	職種	勤務形態	氏名
0.6	管理者	非常勤兼務	[redacted]
	サービス管理責任者	非常勤兼務	
	就労定着支援員	常勤専従	

決　算　報　告　書

令和7年度

自：令和7年4月1日

至：令和8年3月31日

京都市指定管理事業所

就労移行・就労継続支援B型事業所

京都市朱雀工房

社会福祉法人　京都光彩の会

（社会福祉法人　新会計基準に拠る会計処理）

法人名	社会福祉法人京都光彩の会
施設名	京都市朱雀工房
サービス区分	京都市朱雀工房

朱雀工房資金収支計算書

（自 令和7年4月1日　至 令和8年3月31日）　　（単位：円）

		勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	5,000,000	5,684,736	△684,736	
		就労支援事業収入	5,000,000	5,684,736	△684,736	
		障害福祉サービス等事業収入	45,230,000	45,313,761	△83,761	
		自立支援給付費収入	45,000,000	44,853,645	146,355	
		利用者負担金収入	30,000	88,772	△58,772	
		その他の事業収入	200,000	371,344	△171,344	
		その他の収入	500,000	475,700	24,300	
		受入研修費収入	500,000	475,700	24,300	
		事業活動収入計(1)	50,730,000	51,474,197	△744,197	
	支出	人件費支出	41,900,000	42,772,169	△872,169	
		職員給料支出	24,200,000	24,369,262	△169,262	
		職員賞与支出	6,050,000	6,245,460	△195,460	
		職員諸手当支出	3,500,000	4,080,370	△580,370	
		非常勤職員給与支出	950,000	1,016,521	△66,521	
		退職給付支出	1,400,000	1,223,597	176,403	
		法定福利費支出	5,800,000	5,836,959	△36,959	
		事業費支出	1,400,000	1,355,887	44,113	
		保健衛生費支出		12,100	△12,100	
		教養娯楽費支出	130,000	231,138	△101,138	
		日用品費支出	150,000	254,783	△104,783	
		水道光熱費支出	550,000	310,553	239,447	
		消耗器具備品費支出	300,000	209,033	90,967	
		教育指導費支出	20,000		20,000	
		車輌関係費支出	250,000	338,280	△88,280	
		事務費支出	5,340,000	5,434,216	△94,216	
		福利厚生費支出	300,000	295,107	4,893	
		旅費交通費支出	200,000	165,328	34,672	
		研修研究費支出	100,000	116,500	△16,500	
		事務消耗品費支出	430,000	504,971	△74,971	
		印刷製本費支出	850,000	687,710	162,290	
		修繕費支出		17,930	△17,930	
		通信運搬費支出	780,000	946,957	△166,957	
		広報費支出		9,411	△9,411	
		業務委託費支出	1,000,000	1,091,223	△91,223	
		手数料支出	200,000	247,151	△47,151	
		保険料支出	230,000	326,930	△96,930	
		賃借料支出	1,000,000	749,001	250,999	
		租税公課支出	30,000	3,500	26,500	

朱雀工房資金収支計算書

（自 令和7年4月1日　至 令和8年3月31日）

（単位：円）

		勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
		保守料支出		15,950	△15,950	
		支払顧問料	120,000	135,453	△15,453	
		諸会費支出	100,000	112,000	△12,000	
		雑支出		9,094	△9,094	
		就労支援事業支出	5,000,000	5,615,901	△615,901	
		就労支援事業販売原価支出	5,000,000	5,615,901	△615,901	
		事業活動支出計(2)	53,640,000	55,178,173	△1,538,173	
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△2,910,000	△3,703,976	793,976	
施設整備等による収支	収入					
		施設整備等収入計(4)				
	支出					
		施設整備等支出計(5)				
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入					
		その他の活動収入計(7)				
	支出					
		その他の活動支出計(8)				
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
予備費支出(10)						
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			△2,910,000	△3,703,976	793,976	

前期末支払資金残高(12)		2,041,274	△2,041,274	
当期末支払資金残高(11)-(12)	△2,910,000	△1,662,702	△1,247,298	

法人名	社会福祉法人京都光彩の会
施設名	京都市朱雀工房
サービス区分	京都市朱雀工房

朱雀工房事業活動計算書

（自 令和7年4月1日　至 令和8年3月31日）

（単位：円）

		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)−(B)	前年比率	備考
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	5,684,736	5,016,840	667,896	113.31%	
		就労支援事業収益	5,684,736	5,016,840	667,896	113.31%	
		障害福祉サービス等事業収益	45,313,761	41,385,175	3,928,586	109.49%	
		自立支援給付費収益	44,853,645	41,211,674	3,641,971	108.84%	
		利用者負担金収益	88,772		88,772		
		その他の事業収益	371,344	173,501	197,843	214.03%	
		サービス活動収益計(1)	50,998,497	46,402,015	4,596,482	109.91%	
	費用	人件費	42,772,169	34,385,001	8,387,168	124.39%	
		職員給料	24,369,262	19,418,292	4,950,970	125.50%	
		職員賞与	5,245,460	2,955,597	2,289,863	177.48%	
		賞与引当金繰入	1,000,000	1,000,000		100.00%	
		職員諸手当	4,080,370	2,614,864	1,465,506	156.05%	
		非常勤職員給与	1,016,521	2,031,405	△1,014,884	50.04%	
		退職給付費用	1,223,597	1,301,117	△77,520	94.04%	
		法定福利費	5,836,959	5,063,726	773,233	115.27%	
		事業費	1,355,887	1,095,815	260,072	123.73%	
		保健衛生費	12,100		12,100		
		教養娯楽費	231,138	68,113	163,025	339.34%	
		日用品費	254,783	122,437	132,346	208.09%	
		水道光熱費	310,553	291,590	18,963	106.50%	
		消耗器具備品費	209,033	339,638	△130,605	61.55%	
		車輌関係費	338,280	274,037	64,243	123.44%	
		事務費	5,434,216	6,202,130	△767,914	87.62%	
		福利厚生費	295,107	332,338	△37,231	88.80%	
		旅費交通費	165,328	136,446	28,882	121.17%	
		研修研究費	116,500	49,460	67,040	235.54%	
		事務消耗品費	504,971	538,272	△33,301	93.81%	
		印刷製本費	687,710	774,736	△87,026	88.77%	
		修繕費	17,930	10,600	7,330	169.15%	
		通信運搬費	946,957	798,675	148,282	118.57%	
		広報費	9,411		9,411		
		業務委託費	1,091,223	1,087,168	4,055	100.37%	
		手数料	247,151	866,900	△619,749	28.51%	
		保険料	326,930	337,880	△10,950	96.76%	
		賃借料	749,001	1,140,840	△391,839	65.65%	
		租税公課	3,500	6,900	△3,400	50.72%	
		保守料	15,950		15,950		
		支払顧問料	135,453		135,453		

朱雀工房事業活動計算書

（自 令和7年4月1日　至 令和8年3月31日）　　（単位：円）

		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比率	備考
		諸会費	112,000	94,500	17,500	118.52%	
		雑費	9,094	27,415	△18,321	33.17%	
		就労支援事業費用	5,633,301	4,938,648	694,653	114.07%	
		就労支援事業販売原価	5,633,301	4,938,648	694,653	114.07%	
		減価償却費	34,756	34,756		100.00%	
		サービス活動費用計(2)	55,230,329	46,656,350	8,573,979	118.38%	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		△4,231,832	△254,335	△3,977,497	1663.88%	
サービス活動外増減の部	収益	その他のサービス活動外収益	475,700	522,440	△46,740	91.05%	
		受入研修費収益	475,700	522,440	△46,740	91.05%	
		サービス活動外収益計(4)	475,700	522,440	△46,740	91.05%	
	費用						
		サービス活動外費用計(5)					
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		475,700	522,440	△46,740	91.05%	
経常増減差額(7)=(3)+(6)			△3,756,132	268,105	△4,024,237	△1400.99%	
特別増減の部	収益						
		特別収益計(8)					
	費用						
		特別費用計(9)					
	特別増減差額(10)=(8)-(9)						
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			△3,756,132	268,105	△4,024,237	△1400.99%	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		△1,080,860	△1,348,965	268,105	80.13%	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		△4,836,992	△1,080,860	△3,756,132	447.51%	
	基本金取崩額(14)						
	その他の積立金取崩額(15)						
	その他の積立金取崩額						
	工賃変動積立金取崩額						
	長期預り金積立資産取崩額						
	その他の積立金積立額(16)						
	その他の積立金積立額						
	施設整備等積立額						
	工賃変動積立金積立額						
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		△4,836,992	△1,080,860	△3,756,132	447.51%	

法人名	社会福祉法人京都光彩の会
施設名	京都市朱雀工房
サービス区分	京都市朱雀工房

朱雀工房貸借対照表

（令和8年3月31日現在）

（単位：円）

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	10,413,357	9,045,648	1,367,709	流動負債	13,011,409	7,922,324	5,089,085
現金預金	2,105,683	428,112	1,677,571	事業未払金	1,850,527	12,229	1,838,298
事業未収金	6,924,900	8,535,486	△1,610,586	預り金	415,392	221,590	193,802
商品・製品	64,650	82,050	△17,400	サービス区分間借入金	9,745,490	6,688,505	3,056,985
拠点区分間貸付金	1,318,124		1,318,124	賞与引当金	1,000,000	1,000,000	
固定資産	1,161,060	1,195,816	△34,756	負債の部合計	13,011,409	7,922,324	5,089,085
基本財産	1,000,000	1,000,000		純資産の部			
定期預金	1,000,000	1,000,000		基本金	3,400,000	3,400,000	
その他の固定資産	161,060	195,816	△34,756	第一号基本金	3,400,000	3,400,000	
機械及び装置	6	6		次期繰越活動増減差額	△4,836,992	△1,080,860	△3,756,132
器具及び備品	161,054	195,810	△34,756	（うち当期活動増減差額）	△3,756,132	268,105	△4,024,237
				純資産の部合計	△1,436,992	2,319,140	△3,756,132
資産の部合計	11,574,417	10,241,464	1,332,953	負債及び純資産の部合計	11,574,417	10,241,464	1,332,953